

# 「アブラクサスの」



スネオヘアーさん  
(主役 浄念 役)

Q 本作が映画初主演とのことですが、出演依頼があった時は、どのように感じられましたか？

「嘘だー！」って思いました。マネージャーにも嘘だっと思っていました。「そううつつの分裂症のお坊さんの役だよ」と聞かされ、なるほどと思いました。

Q 自身が演じられる浄念というお坊さんについてはどう思いますか？

どこかで、すべて破綻しているような形でありながら、とてもまっ白な紙みたいなのがピュアな感じがします。

Q ミュージシャンの立場で、ロックをやるお坊さんを演じることにどう感じますか？

そうだね、音楽のジャンルは自分のフィールドなので、ミュージックというものを通しては僕はコミュニケーションはしやすい。

演技とかは、じつとできないタイプなので、考えてもしょうがないので預けるしかないのですが、小林さんに見守ってもらいながら、ともさかさんに尻に敷かれ、やっていくしかない。



ともさかりえさん  
(浄念の妻 多恵 役)

Q ご出演のお話があった時、脚本を読まれていかがでしたか？

ありきたりな言い方でですけど、とてもおもしろくて、キャラクターそれぞれの関係性というか、アンバランスみたいな感じがおもしろくて、これは、ぜひ参加したいなあと、二つ返事でお受けしました。たまたま福島で撮影というので、父が地元なんです、これは運命だなと。みょうに勝手にひとりで奮い立っていましたけど、うれしいです。

Q ミュージシャンの旦那もつ奥さんの役どころはいかがでしょうか？

ミュージシャンの奥さんという、そのフレーズだけだと美しい感じなんですけど、今回、浄念さんの奥さん、多恵さんという役なんですけど、二人のなかにある愛情の形というの、とても独特なものだと思えます。そういったものがうまく伝わるように、コミュニケーションをとっていい作品につなげていけたらなと思っています。



小林 薫さん  
(住職 玄宗 役)

Q ご出演のお話があったとき、脚本を読まれていかがでしたか？

私の役は、隣に座っているスネオヘアーさん演じる浄念さんをずっと見守り続けている僧侶であります。

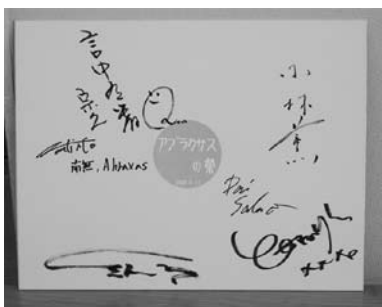
ただ見守っているだけが続けるのはなかなか難しいなと。つい口出してしまますよね「こうしたほうがいい」「それはまずい」などと。

ただ見守っているだけという人ですが、撮影中含めてこの作品も見守り続けたいと思っています。

Q 住職を演じられるということで、先日お寺の生活も体験されているとのことですが

体験というほどの、体験ではないんですけども、住職になるのは初めてで、お寺の暮らしというか住職さんの暮らしは、どういうものかちょっとわからないものですから、そういう意味では面白かったのと、本当によかったです。

二泊もさせて頂いて、二度のお食事も頂いて、一宿一飯の恩義にあずかったなと思っています。



抽選でプレゼントされた色紙



花束を贈呈されたみなさん

「アブラクサスの祭」  
ってどんなお話？

【ストーリー】

うつの坊さんがロック!?

かつてロック・ミュージシャンだったお坊さん・浄念（スネオヘアー）は福島県の小さな町で妻の多恵（ともさかりえ）と5歳の息子と静かに生活している。

お坊さんのくせに人前で話すのも苦手な変わり者だが、不器用なくらい真面目で、一途。そんな浄念を、住職の玄宗（小林薫）は「念さんの中にはちゃんとしたお坊さんがいる」と、温かく見守っている。

ところが、虫も殺さぬ浄念が「この町」でライブをやると言い出した！面白くなって応援してくれる人もいるけれど、罰あたりだと怒り出すお婆さんも現れて、多恵も玄宗も困惑してしまっ！

果たして、この静かな町でライブは実現できるのか？

出演者オーディション開催!!

← 詳しくは、次ページをご覧ください。